

西之表市史 目 次

【下 巻】

本	扉（揮毫 西之表市長 八板 俊輔）
目	次
凡	例

第六編 近 代

第一章 明治維新…………… 3

第一節 幕藩体制から明治に…………… 3

一 王政復古 3

二 戊辰戦争 3

軍費支援、遊撃隊は待機／官軍の先鋒、菊地竹庵の功績

三 版籍奉還 4

種子島家内の紛糾／私領種子島の終焉／府藩県三治制

第二節 近代国家の形成と種子島…………… 7

一 廃藩置県 7

二 地方の制度改革 7

第八十八大区／種子島の行政と私学校／西南戦争と行政／私学

校の壊滅と種子島の行政／戸長改選

三 町村制復活 9

四 地租改正 10

困難な地租改正事業／現和村の地租改正の争い／士族と平民の

土地所有権法廷闘争

第二章 廃仏毀釈と復興…………… 16

第一節 廃仏毀釈…………… 16

一 薩摩藩の廃仏毀釈 16

廃仏毀釈前史／廃仏毀釈の内容

二 種子島の廃仏毀釈 18

廃仏毀釈への反応／種子島で廃仏毀釈が徹底された理由／廃仏

毀釈の結果

第二節 復興…………… 22

一 法華宗の復興 22

二 僧侶・信者の実態 24

三 布教の結果 25

四 種子島における法華宗の意義 26

第三章 種子島私学校と西南戦争…………… 27

第一節 西南戦争以前の世相…………… 27

一 地方政治の不安定と本県の政情 27

二 私学校と県政 27

私学校の創設／私学校と県政

三 種子島の場合 28

種子島私学校の成立／種子島第七十三郷校と種子島私学校

第二節 種子島私学校と西南の役…………… 29

一 西郷の上京 29

二 種子島私学校の出発 29

三 戦役中の種子島情況 30

四 種子島における戦役処理 32

第三節 玉川招魂碑…………… 34

第四章 馬 毛 島…………… 36

第一節 明治初頭、政府に返還…………… 36

第二節 牛を放牧…………… 36

第三節 緬羊の牧畜……………	38
一 政府の緬羊飼育試牧場……………	38
二 馬毛島牧羊社……………	38
三 三ヶ浦の漁業専業地権との紛争……………	40
第四節 大正・昭和期の牧場経営……………	40
一 東京の三浦泰輔に移譲……………	40
二 害獣として馬毛鹿を駆除……………	40
三 大正十三年に川西清兵衛に譲渡……………	41
四 マオランの栽培……………	41
第五節 太平洋戦争時の馬毛島……………	42
一 岳之越にトーチカ構築……………	42
二 羊を長谷野川西農場に移す……………	42
三 日本軍兵士の溺死体が漂着……………	42
四 米軍の空襲を受ける……………	42
第五章 兵 事……………	43
第一節 明治期の兵事……………	43
一 徴兵の実態……………	43
二 種子島出身の代表的軍人……………	43
第二節 大正期の兵事……………	44
一 壮丁検査……………	44
大正十年の熊毛郡壮丁（徴兵）検査表／大正十一年熊毛郡の徴兵検査の受験者数……………	
二 熊毛郡の兵力……………	45
三 軍閥連行事……………	45
入営予餞会（送別会）／森中尉の村葬を西之表公園で執り行つた／種子島軍人青年連合大会／軍艦須磨来る……………	
第三節 昭和初期の兵事……………	47
第四節 各校区にある慰霊碑等……………	48

榕城校区／上西校区／下西校区／国上校区／伊関校区／安納校区／現和校区／安城校区／立山校区／古田校区／住吉校区……………	
第六章 消 防……………	54
第一節 鹿児島県の消防……………	54
第二節 西之表の消防……………	54
一 明治の大火と消防組織改善……………	54
二 大正期の消防……………	55
三 大正十年度火災盗難統計……………	55
第七章 衛生・医療……………	56
第一節 明治大正に活躍した医師……………	56
第二節 医療・衛生……………	57
第八章 諸 機 関……………	58
第一節 熊毛郡役所……………	58
第二節 熊毛支庁……………	60
第三節 種子島警察署……………	61
一 組織・人員……………	61
二 種子島警察署が全焼……………	63
三 種子島での事件や争議……………	63
第四節 税 務 署……………	64
第五節 裁 判 所……………	64
第六節 職業安定所……………	65
第九章 西之表市の移住……………	66
第一節 種子島移住の概要……………	66
第二節 西之表市の移住者の受け入れ状況……………	66
第三節 各地からの移住……………	67
一 甕島からの移住……………	67
移住の経緯／移住の前年に起きた種子島海難事故／アメリカの商船「カシミア号」の遭難／甕島からの移住計画の決行／移……………	

	住地の天然痘流行	
二	沖永良部からの移住	69
	移住の経緯／入植当時の様子	
三	徳之島からの移住	70
	移住の経緯／深川助九郎（佐賀県・財閥）／入植当時の様子／ 落胆からの再起	
四	静岡からの移住	70
	移住の経緯／入植当時の様子／事業の成功	
五	桜島からの移住	71
	移住の経緯／移住計画の実施／入植当時の様子	
六	その他の地域からの移住	72
第四節	戦後の西之表市への移住	73
第五節	西之表市の人口推移	74
第六節	移住年表（戸数・人口省略）	74
第一〇章	太平洋戦争	75
第一節	太平洋戦争始まる	75
第二節	種子島守備隊	76
第三節	戦時下の島民	78
第四節	兵隊の溺死体が西海岸に漂着	79
一	西之表での収容	79
二	馬毛島での収容	79
三	遺体と遺品	80
第五節	古田鍋割地区の陣地・増田飛行場の構築	80
第六節	島外からの作業員の様子	81
第七節	戦闘機の不時着	82
第八節	米軍機の不時着および捕虜	83
第九節	種子島上陸計画の内容と地図	84
第一〇節	終戦日の出来事	85

	第一一節 開戦から終戦までの記録	86
第一章	産業	93
第一節	農業	93
第二節	茶業	96
第三節	畜産業	98
一	馬	98
二	牛	100
三	酪農	101
第四節	漁業	102
一	明治時代	102
二	大正時代	103
三	昭和時代	103
第五節	商工業	105
一	商業	105
二	種子鋏業	106
第六節	養蚕業	108
一	藩政時代	108
二	明治時代	109
三	大正時代	109
四	昭和時代	110
第七節	糖業	112
一	明治時代	112
二	大正時代	113
三	昭和時代	114
第八節	林業	115
一	林野統一	115
二	森林組合	116
第九節	煙草	117

第一〇節 樟 脳	118
第二章 交 通	120
第一節 海上交通	120
一 明治時代	120
二 大正時代	121
三 昭和時代	122
昭和二十年の終戦前の頃の状況について	
第二節 陸上交通	123
第三節 西之表港	126
一 明治時代	126
二 大正時代	126
三 昭和時代	127
第三章 教 育	129
第一節 学校教育	129
一 明治時代	129
二 大正時代	131
三 中等教育	131
戦時下の中学校	
四 戦時中の教育（昭和十六～二十年）	132
学童疎開	
五 女子教育	133
六 幼児教育	133
第二節 社会教育	134
一 婦人会	134
二 青年団	135
第四章 宗 教	136
第一節 西之表市の主な宗派	136
一 法華宗	136

二 日蓮正宗	136
三 神 道	136
四 浄土真宗	137
真宗本願寺派／真宗大谷派	
五 キリスト教	138
六 立正佼成会	139
七 生長の家	139
八 創価学会	139
九 天理教	140
一〇 大本	140
一一 崇教真光	140
一二 エホバの証人（ものみの塔聖書冊子協会）	141

第七編 現 代

第一章 西之表市の概要	149
第一節 西之表市の誕生	149
第二節 位置と面積	151
一 位 置	151
相対的な位置／絶対的な位置／交通としての位置づけ	
二 面積・広ぼう	153
市域面積の推移／広ぼう	
第三節 地勢（山岳・河川等）	153
一 山岳・峠	153
廻り峯山（廻峯山）／上清戸蔵／天女ヶ倉／獄之越（岳之越・岳之腰）	
二 河川・瀑布	154
西京川水系／甲女川水系／湊川水系／川脇川水系／瀑布・湖	

沼

三 海岸・岬 155

海岸／岬

第四節 土地利用……………

一 本市の土地利用 156

第五節 人口……………

一 種子島の人口の変遷 158

二 本市の人口の変遷 159

西之表市（町）人口と世帯数の推移／年齢別・男女別人口の推移／人口動態の推移／校区別人口の推移

第二章 行政……………

第一節 行政……………

一 西之表市の誕生 167

市制施行／庁舎の変遷／市章・市の花、市の木、市の花木、市の蝶等の制定／市民憲章／姉妹都市・友好都市盟約の締結

二 行政組織と事業改革 173

市行政組織（機構改革）の変遷／電子自治体と情報化ネットワーク／広報・広聴／行政と市民の意見交換の場／行政機関（行政委員会）

三 行政附属機関等（区会等） 185

西之表市の部落会の変遷／区会（行政連絡員制度）／集落支援員制度／郷土人会

四 諸 策 187

離島振興に係る法律、施策／長期振興計画／西之表市の諸施策

五 行政改革 197

西之表市 行政改革大綱／民間委託と指定管理者制度の導入

六 歴代三役一覧 200

西之表市の歴代三役／市長の事蹟（歴代市長の市政）

七 市町村合併 206

明治の大合併／昭和の大合併／平成の大合併

八 馬毛島について 209

馬毛島の概要／馬毛島総合開発計画／国家石油備蓄基地の馬毛島誘致／米軍訓練移転候補地問題と自衛隊基地整備

第二節 財政……………

一 西之表市の財政規模 217

二 一般会計の推移 217

歳入の移り変わり／歳出の移り変わり

三 特別会計の推移 223

四 企業会計の推移 224

水道事業会計／地方卸売市場特別会計

五 市 税 225

市税の税目等／税目別収入状況

六 西之表市の財政運営 226

財政力指数と経常収支比率、実質収支比率／健全化判断比率

七 公有財産（市有財産） 231

西之表市の市有財産／西之表市公共施設等総合管理計画

八 基 金 233

九 地方公社・第三セクター 234

西之表市土地開発公社／西之表市農業振興公社／種子島空港ターミナルビル株式会社

一〇 納 税 236

納税の仕組みの変遷 集合徴収方式から単税徴収方式へ／滞納対策

一一 西之表市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税） 237

ふるさと納税制度の導入と事業／ふるさと納税の状況

第三章 議会・選挙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 239

第一節 議 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 239

一 西之表市議会の概要 239

議員定数の変遷／議会棟の変遷

二 歴代正副議長・各委員会 241

歴代正副議長／各委員会

三 西之表市議会 各期議員 244

四 議会改革 246

西之表市議会基本条例の制定／「議会の見える化」と「開かれた議会」

五 議会費と議員報酬 248

議会費の推移／議員報酬の推移

六 議会事務局 249

第二節 選 挙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 250

一 西之表市の選挙の概要 250

二 選挙管理委員会 251

三 選挙の実施状況 251

選挙区の変遷／期日前投票制度の創設／一八歳選挙権／西之表市の選挙状況

第四章 産 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 254

第一節 産業構造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 254

一 西之表市の産業構造の変遷 254

二 総生産額の推移 254

三 産業別就業者数の推移 256

第一次・第二次・第三次産業別の就業者数の推移／産業別就業者数の推移

四 種子島地域産業推進協議会 257

第二節 農 業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 258

一 農業行政 258

西之表市の戦後農業の変遷／農業施策／新しい農業への取り組み

二 農業統計 265

耕地面積の推移／農家戸数の推移／耕種 総生産額の推移

三 農業生産（農産物） 267

普通作物／さつまいも／園芸作物 蔬菜類（野菜）・果樹／工芸作物

四 農業土木 276

畑かんがい営農事業／県営は場整備事業／中山間地域総合整備事業／農道／農業用ため池

五 農業団体・組織 280

農業協同組合／農業共済組合／種子島農業改良普及センター／種子島特産品開発センター「きらり」／西之表市農業振興公社／国・県の農業関連機関

六 害虫防除・鳥獣防除 286

アリモドキゾウムシの防除／サツマイモ基腐病対策／鳥獣被害対策

第三節 畜 産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 289

一 西之表市の畜産の概要 289

鹿児島県島嶼地域の畜産／西之表市における畜産

二 種子島の酪農 290

鹿児島県の酪農／西之表市の酪農

三 種子島の肉用牛 292

四 畜産統計 292

五 諸組合、団体・諸施設 294

熊毛畜産事業農業協同組合連合会／鹿児島県酪農業協同組合／種子島支所／西之表市営種子島牧場／種子島屠畜場／種子島

六 家畜市場／畜産共進会
家畜伝染病対策 298

鹿兒島中央家畜保健衛生所熊毛支所／口蹄疫／鳥インフルエンザ

第四節 林業 299

一 熊毛地域の森林と林業の現況 299

二 西之表市の林業 300

林業統計

三 林業政策・林道整備 302

西之表市森林整備計画／林道整備

四 林業団体・企業 303

森林組合／営林署

五 特用林産物 305

第五節 糖業 306

一 鹿兒島の糖業の変遷 306

鹿兒島県島嶼部及び沖縄県における甘しょ糖生産／熊毛地域における糖業

二 西之表市の糖業の変遷 309

三 糖業統計 310

四 製糖工場と糖業関連機関・団体 311

西之表市の製糖工場／独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター種子島研究拠点／西之表

市さとうきびかんしょ生産振興会／鹿兒島県糖業振興協会

五 さとうきび増産プロジェクト 314

市さとうきびかんしょ生産振興会／鹿兒島県糖業振興協会

第六節 水産業 315

一 鹿兒島の水産業 315

二 西之表市の水産業の概要 315

水産業の変遷と概要／西之表市の漁港の概要／漁港整備計画

三 水産統計 318

漁家（個人経営体）数（世帯）の推移／階層別動力漁船隻数の推移／水揚げの推移／許可漁業の状況／水産加工品生産量の推移

移

四 漁法 325

トビウオ流網漁・トビウオロープ曳浮敷網漁／キビナゴ刺網漁／あさひかにかかり網漁／モジャコ漁

五 つくり育てる漁業の推進 332

トコブシ／陸上養殖「クルマエビ」／放流事業

六 水産業関連団体・施設 336

漁業協同組合／西之表の四つの漁業協同組合／西之表市漁業協同組合／種子島漁業協同組合

第七節 商業・海運業 340

同組合／種子島漁業協同組合

一 商業 340

西之表市商業の沿革／西之表市商工会／商店街の変遷／公設地方卸売市場

二 金融機関 346

方卸売市場

三 海運業 347

西之表市の金融事業／市の金融機関

第八節 工業・鉱業 351

種子島の内航海運業の変遷／海上移入貨物数量・移出貨物数量の推移

一 熊毛地域の工業の現況 351

二 西之表市の工業 351

工業統計／さつまいも地域資源再生特区／地場産業と刃物鍛冶

三 西之表市の鉱業 355

熊毛地区の鉱業の概要／西之表市の砂鉄鉱業

第九節 観光開発と観光資源 357

観光開発と観光資源

一 西之表市と観光開発 357

西之表市観光の沿革／大型観光クルーズ客船の西之表港への寄
港／種子島グリーンツーリズム推進協議会・たねがしまツーリ
ズム連絡会／観光統計

二 観光関連団体・組織 360

種子島観光協会／種子島西之表旅館組合／種子屋久観光連絡
協議会

三 観光資源 361

自然と触れ合う観光施設／歴史的観光施設／レジャー・憩いの
場としての観光施設／観光行事・イベント

第五章 構築（建設・土木）

第一節 都市計画

一 都市計画の変遷 366

二 西之表市の都市計画マスタープラン 366

第二節 道路

一 西之表市の道路の変遷と現況 368

二 国道・主要地方道・一般県道 368

国道／主要地方道／一般県道

三 市道 370

四 橋梁・トンネル・隧道・峠 371

橋梁／トンネル・隧道・峠

第三節 ダム・治水・治山

一 西京ダム 372

二 治水 374

西京ダムの沿革／西京ダムの現況

三 治水 375

甲女川治水事業

西之表市の土砂災害警戒区域

第四節 港湾 376

一 西之表港の変遷 376

戦後の西之表港／重要港湾の指定／西之表港の現況

二 西之表港 港湾計画 378

西之表港港湾計画の一部変更

三 田之脇港と市管理の地方港湾 379

四 西之表港港湾改修事業（改良工事・復旧工事） 380

中央地区／洲之崎地区／天神地区／瀬泊地区

五 港湾統計 381

西之表港 入港船舶総数と総トン数の推移／西之表港 船舶乗
降人員数と海上出入貨物トン数総数の推移

第五節 住宅、公園、緑地

一 公営住宅 383

西之表市公営住宅等長寿命化計画／市営住宅／市営 特定公
共賃貸住宅／県営住宅

二 空き家問題 385

三 都市公園 385

第六節 地籍調査

一 地籍調査の概要 386

二 西之表市の地籍調査事業 387

第六章 衛生・環境

第一節 上水道事業と簡易水道事業

一 西之表市の水道事業の概要 388

二 上水道の整備と拡張事業 388

第一・二次拡張事業／第三次拡張事業／第四次拡張事業／第五
次拡張事業

三 西之表市の簡易水道の変遷 389

四 水道統計 392

給水状況の推移／令和元年度 上水道の年間取水量及び給水量	
五 水道料金の変遷	393
第二節 し尿（生活排水）処理事業	394
一 し尿（生活排水）処理の変遷	394
西之表市のし尿処理事業の概要／初のし尿処理場の建設	
二 西京苑の建設	395
西京苑／西之表市汚泥再生処理センター「西京苑」	
三 浄化槽の普及の変遷	397
第三節 塵芥処理事業	397
一 西之表市の塵芥処理の変遷	397
ごみ焼却場の建設	
二 種子島清掃センター	399
種子島地区広域事務組合／種子島清掃センターの稼動／最終処分場	
三 ごみ減量化への取り組み	401
家庭ごみの手数料徴収（有料化）／分別収集と再資源化（リサイクル）	
第四節 環境保護	403
一 西之表市の環境行政	403
二 環境保護・保全	403
西之表市環境基本計画／馬毛島固有種のマゲシカの保護（鳥獣保護）	
三 農業用廃プラスチック類の島外搬出処理	404
四 沿岸海岸保全	404
海岸漂着物対策／ウミガメ上陸産卵地	
第五節 葬祭・墓地	406
一 葬祭	406
火葬場・斎場の変遷／西之表町営火葬場の概要／西之表斎苑（火葬場）の概要	

二 市営墓地	407
第七章 厚生・福祉	409
第一節 厚生事業	409
一 社会保障制度の変遷	409
二 国民健康保険制度	409
国民健康保険制度の概要／西之表市の国民健康保険の現況	
三 高齢者医療保険制度	411
高齢者に関する医療保険制度の変遷／後期高齢者医療保険制度の導入／西之表市の後期高齢者医療保険の現況	
四 介護保険制度	412
介護保険制度の導入／西之表市の介護保険の現況／在宅介護支援センターから地域包括支援センターへ	
五 国民年金制度	414
国民年金制度の概要／西之表市の国民年金の状況	
六 公的扶助	417
生活保護制度の概要／失業対策事業／出稼ぎ労働／西之表市の生活保護の状況／戦病者、戦没者等遺族の援護	
七 民生委員・児童委員	424
第二節 福祉事業	425
一 社会福祉の変遷	425
二 児童福祉	425
児童福祉の概要／児童をめぐる社会環境／児童の支援／児童福祉施設（児童館）	
三 高齢者福祉	427
高齢者福祉の概要／高齢者福祉計画／高齢者福祉施設／西之表市老人クラブ連合会	
四 障がい者福祉	431

障がい者福祉の概要／障がい者計画／障がい者（児）福祉団体・施設／障害者手帳の交付

五 福祉団体と行事 433

西之表市社会福祉協議会／西之表市シルバー人材センター／西之表市福祉事務所／種子島サンセット車いすマラソン大会

六 保育園 435

保育園変遷と概要／西之表市 市立保育園の概要／市立保育園の民間移管／私立保育園／認定こども園

七 子育て支援事業 440

子育て支援の概要／西之表市子ども・子育て支援事業計画／西之表市子育て支援センター／西之表市ファミリー・サポート・センター／放課後児童クラブ／幼児教育・保育の無償化とコロナ禍の子育て支援

八 母子・父子・寡婦福祉 443

西之表市母子寡婦福祉会／ひとり親地方移住支援

第八章 保健・医療

第一節 保 健

一 西之表市の保健衛生行政の概要 444

二 感染症対策 444

西之表市営伝染病隔離病舎／衛生環境の改善／近年の感染症予防対策

三 保健 所 446

西之表保健所

四 西之表市保健センター「すこやか」 446

施設の沿革／市保健センター「すこやか」の現況

五 健康診査・母子保健事業・予防接種 447

各種健康診査／母子保健事業／予防接種

六 健康づくりの推進 449

国民健康づくり対策／健康まつりの開催／西之表市食生活改善推進員連絡協議会

第二節 医 療

一 医療の変遷と概要 451

西之表市の医療の変遷／西之表市の医療の現況

二 西之表市の医療機関の現況 452

現在の医療施設／閉院した医療施設

三 種子島産婦人科医院 454

西之表市の周産期医療・婦人科医療／公立産婦人科医院の設置／新・種子島産婦人科医院の開院

四 鹿児島県保健医療計画と地域医療構想 455

地域医療構想／熊毛保健医療圏地域医療連携計画

五 医師会等諸団体 455

六 鹿児島県の救急医療体制 456

初期救急医療体制／第二次救急医療体制／第三次救急医療体制

第九章 治安・消防・防災・災害

第一節 治 安

一 種子島警察署の現況 457

各交番（駐在所・派出所）

二 治安の概要と現況 457

市内の刑法犯認知、犯罪率状況の推移／関係諸団体／西之表市の「暴力追放都市宣言」

三 海上の安全及び治安 459

鹿児島海上保安部 種子島保安署

四 保護司会再犯防止推進計画 459

種子島保護区保護司会

五 国の司法諸組織 460

鹿児島地方検察庁 種子島区検察庁／種子島簡易裁判所・鹿児島家庭裁判所種子島出張所／鹿児島地方検察庁 種子島出張所（旧西之表出張所）

第二節 交通安全 461

一 市民の交通安全への意識 461

二 西之表市の交通安全行政 461

高齢者運転免許自主返納制度と移動手段の確保

三 交通事故発生状況 462

第三節 消防 463

一 戦後の消防の沿革と概要 463

二 西之表市消防の沿革 463

三 西之表市消防団の現況 464

市消防団の組織と消防施設整備／消防団員数の推移／消防団女性分団の創設／幼年消防クラブ・婦人消防クラブ

四 消防統計 465

五 広域消防 467

第四節 防災 468

一 西之表市の防災行政 468

市民を守るための計画／西之表市防災行政無線整備事業

二 防災マップの作成 470

三 災害時応援協定 470

第五節 災害 471

一 西之表市の災害の記録 471

戦後のデラ台風からの豪雨災害の変遷

二 西之表市の被災地復興支援 471

第一〇章 交通・通信・電力 472

第一節 交通機関 472

一 種子島地域の交通 472

二 海路公共交通機関 472

昭和期までの海上交通／平成以降の種子・屋久航路／現在の海上交通／市営渡船事業 馬毛島航路

三 陸路公共交通機関 478

路線バスの変遷／西之表市コミュニティバス・デマンド型乗合タクシー／自家用車の普及

四 航空交通 480

西之表市営飛行場開設（安納飛行場）／新種子島空港／空港統計／空港の概要及び施設

第二節 通信 484

一 西之表市の郵便事業の沿革 484

二 西之表市内の郵便局 485

三 電信・電話 485

明治の電信業務／種子島電報電話局の開局／二省分離と電話事業の進展／農村公衆電話（地域集団電話）の普及／西之表市の高速光ブロードバンド網

四 放送局・新聞社 490

有線放送事業／テレビ中継塔（中継局）の設置／新聞社

第三節 電力 492

一 電力事業の変遷 492

二 種子島地方の電力網の普及 492

三 熊毛農村自家用電気利用組合（東海地区） 493

四 種子島第一発電所・新種子島火力発電所 494

種子島第一発電所

五 西之表市の再生可能エネルギー 495

自然エネルギーへの転換／太陽光発電／風力発電／バイオマスエネルギー

第一章 教育 497

第一節 教育行政 497

一 戦後教育改革 497

教育基本法制定と教育委員会の発足

二 西之表市教育委員会 497

西之表市教育委員会／西之表市総合教育会議／鹿児島県教育

庁 熊毛教育事務所／西之表市歴代教育長

三 教育行政施策 499

西之表市教育振興基本計画（教育大綱）／西之表市「種子島し

おさい留学」制度／西之表市 地域学校協働活動本部／市立学

校の学校施設耐震化事業

四 公立学校の統廃合 501

市立中学校の再編／県立高等学校の再編

五 学校給食・食育と地産地消 503

学校給食／食育と地産地消

六 教員宿舎（教職員住宅） 505

七 西之表市の奨学金制度と補助金・援助制度 506

第二節 学校教育 506

一 鹿児島県・西之表市の離島教育 506

二 就学前教育 507

西之表市の幼稚園／各幼稚園／草創期の幼稚園教育の功労者

古市静（静子）

三 小学校教育 509

西之表市立小学校の概要／各市立小学校／閉校・休校となった

小学校

四 中学校教育 518

市立中学校の概要／西之表市立種子島中学校／廃校になった市

立中学校

五 高等学校教育 526

熊毛地区の公立高等学校の概要／県立種子島高等学校／（旧）

県立種子島高等学校／県立種子島実業高等学校

六 県立中種子養護学校（中種子特別支援学校） 531

第三節 社会教育（生涯教育） 531

一 社会教育の概要 531

二 西之表市の生涯学習 531

生涯学習 市民講座・自主講座／西之表市生涯学習市民フェア

／自治公民館の整備と充実

三 社会教育団体・社会教育行事 534

西之表市女性団体連絡協議会（旧婦人会）／西之表市連合青年

団／西之表市子ども会育成連絡協議会

四 社会教育施設 536

市民のための施設／博物館

第四節 社会体育（生涯スポーツ） 543

一 社会体育の概要 543

二 体育団体・組織 543

西之表市スポーツ推進委員（旧体育指導委員）／西之表市スポー

ツ協会（旧体育協会）／西之表市スポーツ少年団

三 体育行事 545

西之表市 市民体育祭／西之表市駅伝競走大会／武道大会・

相撲大会

四 体育施設 546

西之表市民体育館／西之表市陸上競技場（市営グラウンド）／

西之表市営プール／公園内のスポーツ施設（天倫館・市営テニ

スコート）／あっぱーらんど／「松原運動公園」建設計画

第二章 文化振興と文化財 554

第一節 文化行政・文化振興 554

一 文化行政の変遷 554

二 西之表市の文化団体 554

西之表市文化協会／熊毛文学会／西之表市の合唱団／熊毛テア
トロ

三 西之表市の文化行事 555

市民文化祭／西之表市小・中学校合同音楽祭／国民文化祭

四 西之表の文化人 557

いけばなを広めた 羽生慎翁／「天声人語」の名付け親 西村
天四／『種子島家譜』の復刊 鮫島宗美

第二節 文化交流事業……………559

一 「「からいも交流」事業 559

二 西之表市の交流事業 559

ポルトガル共和国 ヴィラ・ド・ピスボ市（姉妹都市）／鹿兒

島県伊佐市（姉妹都市）／滋賀県長浜市（友好都市）

三 受け入れ自治体としての西之表市 560

東京大学の「体験活動プログラム」の受け入れ／民泊生活体験
とグリーンツーリズム

第三節 文化財……………561

一 西之表市の文化財保護（保存と活用） 561

二 西之表市文化財保護審議会 561

三 郷土芸能保存会の育成 562

四 西之表市の文化財 562

五 西之表市の国指定・国登録・国選択文化財 564

国指定文化財／国登録文化財／国選択文化財

六 西之表市の県指定文化財 565

七 西之表市の指定文化財 565

第一三章 年 表……………566

第八編 校区史

第一章 榕城校区……………589

第一節 榕城校区の概要……………589

第二節 榕城校区の成り立ち……………590

第三節 地名・字名……………591

一 大字西之表の大字二覧（上西校区、下西校区を含んでいる） 591

二 特徴的な地名 593

春日／御坊／井ノ川／小射場坂／鉄砲場／水天宮／栄町／田屋

敷／城ノ浜／唐人ガ浦／トンギョウの坂／小路口／本城／深渡

瀬／中目／松下／豊山／門前／井の上／ムクヨモ坂／ずく山／

馬飼屋敷・馬飼／塩硝田

第四節 歴史的特殊性……………596

一 麓と呼ばれる歴史的な地域 596

石敢當

二 三ヶ浦 598

三ヶ浦の歴史（馬毛島を含む）／三ヶ浦の格付け／浦の組織／

トビウオ捕り／信仰・神社／年中行事／中原太吉の日記にみる

三ヶ浦の生活／鯨／三ヶ浦の俗言／瀬泊 五助の墓／馬毛島王

籠浦の石塔／池田の石垣／「歌之助 歌を申せ」／「瀬引き、

瀬落とし」

三 明治時代の人々の暮らし 617

赤尾木城下町の様子（概略）／海運業の様子（概略）／北種子

村「営業届」にみる各町の様子

第五節 移 住……………626

一 山川からの移住 626

二 甌島からの移住 626

三 桜島からの移住 627

第六節	戦争と疎開	627
第七節	人物	629

橋原孫之助長之(榕園)／大木ウメ／吉留伝平／柳田来鳳(玉川・柳温)／鯨島和七郎／羽生六郎左衛門道潔／美座六兵衛時観／田上市郎義福／渡邊勘右衛門直(竹亭)／田上助市(青山)／吉良太郎氏章／羽生慎翁道則／鶴女(武田つる)／羽生俊助／遠藤家治／羽生操／浜田正之丞／前田新五兵衛宗誠(中洲)／平山優子／子島猪右衛門時廉(山水)／前田讓蔵宗成(豊山)／羽生助吉能安(小礫)／大牟礼時春(南島・南塘)／尾形直十／西村時彦(天囚・碩園)／子島勇之助(西坡・時世・荷堂)／林幸光／木村雅信／平山伝一郎武世(西海)／知寛才兵衛行寛／平山寛蔵武肅(椒垣)／平山円(簗月・股蛟)／最上宏(白雷)／牧龍太・牧彬／川口雪蓬(香雲)／上妻謙三宗武／中田時懋／河内礼蔵／川口盛三(春溪)／古市静

第八節	年中行事	638
一	現在も伝わる行事及び近年まで続いた行事	638

正月／大的始／温座祈念／節分／曾我兄弟の傘焼き(五月)／六月燈／祇園祭・太鼓山／お盆／正月前の準備清掃／町祈禱／潮祀り

二	史料に残る年中行事	639
---	-----------	-----

第九節	伝説	641
-----	----	-----

鳩磯／札の辻／木の下／番屋の小路／勘当坂／古城／犬の馬場／新城／平田／石堂

第二〇節	史跡、神社仏閣	644
------	---------	-----

宮原神社(中西)／八幡神社(西町)／八坂神社(西町)／西岸寺(西町)／種子島家御坊墓地(野首)／二十人家墓地／石清水八幡神社(野首)／栖林神社(中目)／吉祥山本源寺(中

目)／赤尾木城跡(中目)／御拝塔墓地(中目)／月窓亭(中目)／吉留伝平碑(中目)／玉川招魂碑(東町)／菅原神社(天神町)／大会寺跡(天神町)／若狭墓所(田屋敷)／山田歌子墓所(田屋敷)／弓矢八幡神社(城)／高野神社(城)／比良野神社(城)／小牧野神社(小牧野)／鯨島神社(小牧野)／桃岡神社(桃園)／横野神社(本立)／石峰山萬徳寺(上之原町)

第一節	郷土芸能	652
第二節	年表	652
暮らしの風景写真		

第二章	上西校区	659
-----	------	-----

第一節	上西校区の概要	659
-----	---------	-----

第二節	上西校区の成り立ち	659
-----	-----------	-----

第三節	地名・字名	660
-----	-------	-----

一字	名	660
二地	名	660

大崎／花里崎と大花里／池之久保／杵之峯

第四節	歴史的特殊性	661
-----	--------	-----

一	比志島國隆と阿久根千代女	661
---	--------------	-----

二	大広野の人々	662
---	--------	-----

三	絹浅黄色袂付袖前帯付亀附岩三ツ鱗紋裏付童着晴着	663
---	-------------------------	-----

第五節	移住	663
-----	----	-----

第六節	戦争と疎開	664
-----	-------	-----

第七節	人物	664
-----	----	-----

久保平内左衛門之正／朝山治右衛門高重の墓

第八節	年中行事	665
-----	------	-----

火入れ祈禱(大崎)／弓場祭(杵之峯)／種子島家のしめ縄由来(横山)

第九節 伝説……………667

不思議な酒樽（大崎）／かね浦（大崎）／大広野の氏神（大崎）
／サルシの坂の目一ツ五郎（花里崎）／朽之峯のこと（朽之峯）
／ガローになった泉（横山）

第一〇節 神社・仏閣……………670

伊勢神社（大花里）／田の神様（大崎）／大広野神社の銅鏡（大崎）
／弓矢八幡神社（朽之峯）／阿久根中将之碑（横山）／阿久根千代女の墓（横山）
／日蓮上人供養碑（横山）／阿久根中将碑（横山）／佛ノ峰の供養塔（横山）

第一一節 郷土芸能……………673

横山盆踊（横山）

第一二節 年表……………674

暮らしの風景写真

第三章 下西校区……………677

第一節 下西校区の概要……………677

第二節 下西校区の成り立ち……………678

第三節 地名・字名……………679

池野／川迎／漣泊／鞍勇／上石寺／下石寺／若宮

第四節 歴史的特殊性……………680

上石寺の串目書（塩屋牧境）／上石寺塩屋牧地記念碑／上石寺塩屋牧地由来記／下石寺の串目書／日典上人

第五節 移住……………685

第六節 戦争と疎開……………687

下西の学童疎開／戦争体験談／空襲の様子

第七節 人物……………690

西ノ海嘉治郎（二代）／榎本小右衛門／遠藤清／牧瀬傳吉

第八節 年中行事……………692

若水汲み／年始会／白起こし／福祭文／船祝い／日典寺の国禱

第九節 伝説……………697

会（温座祈念）／蚕の宮じょう／穂垂れ引き／破魔祈禱／六月燈／盆行事／石塔まつり／盆踊り（川迎）／願成就／城ノ浜ふるさと夏祭り／歳どん（鞍勇）

第一〇節 史跡・神社仏閣……………700

王の山祠堂記（漣泊）／租税完納顕彰碑（上石寺）／日本甘藷栽培初地之碑（下石寺）
／下西小学校創立百周年記念碑（川迎）／日葡親交祈念之碑（わかさ公園）
／八幡様／報徳之碑（上石寺）／六道／虫供養之碑（上石寺）
／灰釜跡（上石寺）／瀬風呂／馬頭観音（馬の神様）
／石敢當（漣泊）／日典供養塔（川迎）
／日典上人誕生之地（川迎）
／慰霊塔（川迎）
／慰霊塔（わかさ公園）
／日典上人霊蹟の碑（川迎）
／聖教塚（川迎）
／池野先祖累代顕彰碑／横綱西ノ海嘉次郎顕彰碑／大石様／日典寺（川迎）
／深教寺（日蓮正宗、大慧山）
／王の山神社（漣泊）
／若宮神社（漣泊）
／池野神社／上石寺神社／下石寺神社／甘藷神社（下石寺）
／妙泉寺跡（川迎）
／下石寺にあった寺

第一一節 郷土芸能……………713

川迎の盆踊り

第一二節 年表……………714

暮らしの風景写真

第四章 国上校区……………718

第一節 国上校区の概要……………718

第二節 国上校区の成り立ち……………718

第三節 地名・字名……………720

一 大字国上の小字一覧 720
二 特徴的な地名など 720

第四節 歴史的な特殊性 722

国上の由来／太田の由来／太田の地名（通称）／中目の「ニタ」の由来／監獄所跡と懲役墓
歴史的な特殊性
タネ国府の存在／タネ国府国上説／大内屋敷国府説について（国上小学校敷地）／タネ国分寺説／『西之表市伝説』『西之表市年表』に見る国分寺説／国見山について／国上の寺子屋教育／前田豊山先生の墨書／国上の中央に位置する中目、寺之門の郷中制

第五節 移住 727

久保田移住記念碑、公民館建設の話／百引からの移住者と記念碑／国上の戦後の開拓団（上の古田、今成開拓団）／今成開拓団／川安開拓団（第二期）一里十丁近辺／川安開拓団（第二期）大平見（元国上中学校から柳原線の途中）

第六節 戦争と疎開 730

喜志鹿崎防備衛所と戦時中の状況

第七節 人物 732

高田三郎／落合盛吉／永照院悦子／原捨思／水口兄弟／常の山（西乃龍）

第八節 年中行事 735

一月／三月／四月／六月／七月／八月／九月／十月／十二月／奥神社の射場祭について

第九節 伝説 737

奥神社と山祭り／笹の宮（笹明神浦田神社）／奥神社の山神観音様の勧請（栖林久基）／喜志賀美権現宮の由来／喜志賀美権現の合祀時期／国上奥集落、春山家に伝わる瓦製厨子／国上奥集落、岡本家に伝わる金毘羅宮の信徒壇／奥神社に伝わる藤原

光政光長製作の柄付き鏡／喜志賀崎の馬頭観音／浜田家の貫門／国上寺之門の墓地「オコンソン」／国上のガロー山（ガラン）／太田の伝説／千人塚と禰寝戦争／桜園馬頭観と草競馬／国見山の笛の音／浦田小島の調査／安徳帝の浦田滞在（生存潜幸説）／御田植祭り

第一〇節 史跡・神社仏閣 748

浦田神社／奥神社／元山神社／寺之門神社／太田の五輪塔／日高紀伊守宗俊の墓石／廟／久保田神社／久保田エビス神／本法寺（本源寺末寺）

第一一節 郷土芸能 759

郷土芸能／寺之門の花踊／久保田の棒踊／野木平のトシドン

第一二節 年表 762

暮らしの風景写真

第五章 伊関校区 765

第一節 伊関校区の概要 765

第二節 伊関校区の成り立ち 766

第三節 地名・字名 767

大字伊関の小字一覧

第四節 歴史的な特殊性 767

塩屋牧／米国商船カシミア号の乗組員救助

第五節 移住 770

第六節 戦争と疎開 771

第七節 人物 772

榎本喜右衛門

第八節 年中行事 773

一月／三月／四月／七月／八月／九月／十月／十一月

第九節 伝説 774

鹿七匹と身の片ひら／木折坂／西京川／田浦／山座の水／安関

橋

第一〇節 史跡、神社仏閣……………776

伊関神社（大山神社）／沖ヶ浜田神社／浜脇神社／又延神社／
柳原の小寺／正立寺……………

第一節 郷土芸能……………778

タンバラ踊／新地節／ちくてん節／棒踊……………

第二節 年 表……………780

暮らしの風景写真……………

第六章 安納校区……………782

第一節 安納校区の概要……………782

第二節 安納校区の成り立ち……………783

第三節 地名・字名……………783

一 字 名……………783

二 地 名……………784

安納／軍場／花ノ木／番小屋の峰／鞍掛松……………

第四節 歴史的特殊性……………785

謎多き天女ヶ倉／恵時の隠居／縄文・弥生時代の遺跡／明治時
代の安納小学校／農村電化の碑（峯）／旧安納飛行場（峯）／
日本一の安納芋……………

第五節 甕島からの移住……………789

第六節 戦争と疎開……………790

体験談……………

第七節 人 物……………791

日高（安納）隠岐守（安納地頭）／日高半十郎／鎌田森也……………

第八節 年中行事……………792

四月／五月／六月／七月／八月／九月／十月／十一月／十二月
／一月／二月／三月／蚕宮城……………

第九節 伝 説……………794

天女ヶ倉関連／軍場の大山祇神社由来／五兵衛開きの天狗……………

第一〇節 史跡、神社仏閣……………795

堂の山の「ガラン」／安納神社（大平）／軍場神社（軍場）／
エビス神社（峯）／本蓮寺「法華宗本門流」（軍場）……………

第一節 郷土芸能……………798

安納棒踊（軍場）……………

第二節 年 表……………799

暮らしの風景写真……………

第七章 現和校区……………802

第一節 現和校区の概要……………802

第二節 現和校区の成り立ち……………802

近政／川氏／西俣／武部／浅川／田之脇／庄司浦／上之町・下
之町……………

之町……………

第三節 地名・字名……………807

一 大字現和の小字一覧……………807

二 特徴的な地名など……………808

お茶園／猪ノ子（イノコ）／茨川（イワランコウ）／古風本（元
風本）……………

第四節 歴史的特殊性……………809

一 現和村の呼称の変遷について……………810

見和村／吉平村／現和村／呼称の変遷のまとめ……………

第五節 移 住……………815

「現和メモ」にみる川氏集落の開拓／移住記念碑……………

第六節 戦争と疎開……………818

孝子弥五郎とその娘袈裟／木原惣四郎現和区長／木原平五郎／
鮫島助吉／向田紋太……………

鮫島助吉／向田紋太……………

第八節 年中行事……………824

一月／二月／三月／五月／六月／七月／八月／九月／十月／十一月／十二月

第九節 伝 説

せい瀬伝説／堂月の峯（道月の峯）／経塚／湯穴／瀬風呂／現和の五橋

第一〇節 史跡・神社仏閣

風本神社／塩釜繁盛祈願の碑／近政の正八幡宮／田上七之助氏開田の碑（川氏下村氏家前）／西俣集落の祭神とみ山／大聖寺／台運院坊・中ノ坊・聖主院／向田神社（弓矢八幡）／製鉄所跡／僧角文の碑／隆興寺石塔群／平草操業の始まり／菅原神社（天神様）／種子島落花生栽培初地の碑／飯屋元吉平／浅川集落の祭神／田之脇港記念碑文

第一一節 郷土芸能

種子島大踊（県指定文化財）

第二二節 年 表

暮らしの風景写真

第八章 安城校区

第一節 安城校区の概要

第二節 安城校区の成り立ち

第三節 地名・字名

一字 名 846

二地 名 847

安城／川脇／平山／平園／宮園／塩屋

第四節 歴史的特殊性

一 地頭羽生右京能房

二 カシミア（ヤ）号事件について

事件のあらまし／贈られた品品のその後／贈られた金五〇〇〇ドルの使途

三 墓地群を中心として
四 牧について

塩屋牧―川脇／平山牧―平山／大峰牧―上之町／殿増牧―大野／カタノチ牧

五 安城小・中学校の歴史

安城小学校／安城中学校

第五節 移 住

飢島からの移住の経緯／なぜ種子島だったのか／移住状況／安城地区への移住

第六節 戦争と疎開

開戦から疎開・帰島／安城小学校の疎開開始から帰島までの記録

第七節 人 物

田上七之助／宮園豊則／上妻慎吾／徳永遼（号生萌）／江口清淳

第八節 年中行事

四月／五月／六月／七月／九月／十月／十一月／一月／三月

第九節 伝 説

岡山神社関連／田の山神／源助が涙雨／かくれ岩屋

第一〇節 史跡、神社仏閣

岡山神社／妙泰寺／諏訪神社／川脇神社／エビス神社／大野神社

第一一節 郷土芸能

安城大踊／なぎなた踊

第二二節 年 表

暮らしの風景写真

第九章 立山校区

第一節 立山校区の概要

第二節	立山校区の成り立ち	873
第三節	地名・字名（大字安城）	874
一 字 名	874	
二 地 名	874	
	九郎左エ門・七別当／現和山／込めの山／矢立て石／尾呂ノ平 ／御牧／ヤマゴウ／野間殿の坂（小字名）／番屋ノ平（小字名） ／御牧／ヤマゴウ／野間殿の坂（小字名）／番屋ノ平（小字名）	
第四節	歴史的特殊性	875
	ウシウマ由来と芦野牧／大峯牧由来と馬追い／野木の峯牧／安 城の本村は立山であった／立山の飯屋／立山の武田家（武田家 系図・系譜）／カシミア号漂着事件	
第五節	移 住	883
	甕島からの移住（御牧集落）／徳之島からの移住（野木集落）	
第六節	戦争と疎開	885
第七節	人 物	888
	羽生右京能房／岩坪平左衛門／高山七太郎／石井清吉	
第八節	年中行事	891
	一月／旧暦二月／旧暦六月／八月／九月／十月	
第九節	伝 説	892
	鹿狩り／論ノ迫／立山の射場	
第一〇節	史跡・神社仏閣	893
	カシミア号漂着記念碑／芦野 山家の氏神・按司根津栄神社／ 立山エビス神（立山港）／清和神社／立山の氏神様由来（清和 神社境内）／立山の寺（名前のない寺）／立山の田の神山	
第十一節	郷土芸能	896
	おつや口説き	
第十二節	年 表	897
	暮らしの風景写真	

第一〇章	中割校区	899
第一節	中割校区の概要	899
第二節	中割校区の成り立ち	900
第三節	地名・字名	902
一 地 名	902	
	中割／十六番／万波／生姜山／千段峯	
二 字 名	902	
	大字／小字	
第四節	歴史的特殊性	903
第五節	移 住	904
第六節	戦争と疎開	908
第七節	人 物	909
	向井喜之助	
第八節	年中行事	910
	一月一日／七月末／九月／十月／十一月末	
第九節	伝 説	910
	血染めの石／鍋割坂／十六番の里いも	
第一〇節	史跡、神社仏閣	911
一 石碑に見る中割の足跡	911	
	十六番行幸記念碑／万波移住記念碑／万波行幸記念碑／月讀 神社／七尋五葉松の自生地地の碑	
二 神社仏閣	913	
	月讀神社	
第十一節	郷土芸能	913
	鴻峰小唄／鴻峰小学校校歌	
第十二節	年 表	914
	暮らしの風景写真	

第一章	古田校区	917
第一節	古田校区の概要	917
第二節	古田校区の成り立ち	918
第三節	地名・字名	919
一字	名	919
二地	名	919
中之町／村之町／上之町／番屋峯／二本松／十三番／平松		
第四節	歴史的特殊性	923
製鉄の歴史／古田水力発電所跡／番屋峯の製茶		
第五節	戦争と疎開	925
学童疎開の記憶／神風の詩のこと（昭和二十年九月十七日 枕		
崎台風通過）／誠の碑		
第六節	人物	927
古田御前／島津大膳久憲		
第七節	年中行事	929
一月／二月／三月／四月／五月／七月／九月／十月／十一月／		
十二月		
第八節	史跡等	930
二本松遺跡／一位山／種子島気象レーダー／紀功碑／ガロー山		
／田の神様と馬頭観音		
第九節	豊受神社	932
豊受神社／願成就		
第一〇節	郷土芸能	933
古田獅子舞／古田棒踊		
第十一節	年表	934
暮らしの風景写真		
第二章	住吉校区	938
第一節	住吉校区の概要	938

第二節	住吉校区の成り立ち	939
「神社縁起書」の考察／住吉小学校／住吉中学校		
第三節	地名・字名	949
大字住吉の小事一覧		
第四節	歴史的特殊性	950
一時葬公居住跡と住吉という土地		
二 能野焼	953	
代表作品／能野焼窯跡／野間焼のカメ墓と能野焼の甕棺／能野		
焼の終焉		
三 種子島陶芸史の新たな一歩 種子島焼	956	
小山富士夫／中里隆		
第五節	移住	958
第六節	戦争と疎開	959
人物		
山本秀雄		
第七節	年中行事・郷土芸能	964
一年中行事	964	
一月／五月／七月／八月／九月／九月／十月／十月／十二月／		
舟祝い／七種／このみやじょう（蚕之宮城）		
二 郷土芸能	966	
願成就／源太郎踊／めん踊		
第九節	伝説	967
深川の大石／大石に泥を塗る／与次が瀬／仏峰／能野浜の刑場		
／ハタモリー		
第一〇節	神社仏閣、石塔	971
一 神社	971	
住吉神社（住吉御山鎮座）／形之山神社（住吉形之山鎮座）／		
深川神社（住吉深川鎮座）／能野神社（住吉能野里鎮座）／エ		

ビス神社（住吉浜之町鎮座）／上能野神社（住吉上能野鎮座）
／下能野神社（住吉下能野鎮座）／牧之神（住吉里之町鎮座）

二 寺 院 977

本立寺（法華宗本門流 能野里）／本成寺（本門法華宗 浜之町）

三 石 碑 979

住吉神社前慰霊塔／飛魚船追悼之碑（浜之町本成寺内）／下能野築港記念碑（下能野神社内）／馬毛島漁業権記念碑（上能野神社境内）／オランダエンドウ発祥之碑（住吉神社第二鳥居左）
／牧之頌德碑（里之町牧之神鳥居前）／能野塩屋記念碑（上能野公民館前）

第一一節 年 表 983

暮らしの風景写真

第一三章 方 言 986

第一節 位置づけと地域差 986

第二節 研究と継承活動の歴史 987

第三節 音 韻 988

第四節 文 法 990

代名詞／格助詞

第一編 自然

第二編 先史

第三編 古代

第四編 中世

第五編 近世

凡 例

- 一 本書は『西之表市史』上巻・下巻のうち、下巻である。
- 一 記述内容は令和四年三月までとしたが、掲載できるものについては、最新の内容を掲載した。
- 一 史実の内容は客観的であることに努め、出典・根拠を明らかにした。各編末に参考文献や資料を掲載した。
- 一 文体は常体とし、記述は現代仮名遣い及び常用漢字を原則とした。
- 一 引用文は、本文より二字下げで掲載した。また、原則として原文をそのまま記述した。
- 一 数詞の表記は原則的に次のとおりとした。
 - (年 号)
和暦とし、() に西暦を付した。また、明治以降は、節初出及び必要性のある箇所のみに西暦を付した。
(例) 令和六年(二〇二四)
 - (年月日)
「十」を用いて記述することとした。
(例) 平成二十九年十一月二十八日
 - (一般数)
数が多い場合には、「兆」「億」「万」を入れた。
(例) 五兆二〇三五億二三〇〇万六五八九円

- 一 人名は敬称を略した箇所もある。

- 一 内容が重複する箇所があるが、当該箇所にも記述があることで、読者に理解を深めてもらえ则认为、そのまま掲載した。

- 一 差別的用語は極力使用しないように努めたが、歴史用語として用いたところがある。これは、史実を正しく理解し、あつてはならない不当な身分差別制度の認識に資するためのものである。